



©2005 石塚真一/小学館

第 268 号(令和4年(2022 年)7月7日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

焼岳に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を継続

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/310.html

御嶽山の噴火警戒レベルが 2 から 1（活火山であることに留意）に引き下げられました

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/312.html

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>

を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

6 月 5 週は、県内では死亡遭難を含む 3 件の遭難が発生しました。

7 月 3 日発生した独鈷山における滑落遭難は、同行者とはぐれた後、登山道を外れ、滑落してしまった事例です。

最近、県内のいわゆる「里山」での遭難が増加傾向にあります。里山は、標高が低いがゆえに樹林や植生が濃く登山道を見失いやすい上、獣道や作業道等が交錯する場合もあるため、道迷いのリスクが高くなります。事前に地形図を確認し、コース全体を把握するとともに、行動中も紙の地形図や地図アプリ等を活用してこまめに現在地を確認しましょう。

また、万が一道に迷った場合は、強引に下山することは絶対にやめましょう。

過去の事例の多くは、強引に下山をしたことにより、結果として沢や崖で滑落して怪我をしたり、亡くなったりしています。「里山だから…」と安易な気持ちで入山することなく、装備も心も整えて入山しましょう！

発生状況

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
6 月 27 日	北アルプス 蝶ヶ岳	76	女	疲労	無事救出	単独で登山中、疲労により行動不能
26 日、単独で常念岳を經由して蝶ヶ岳に向けて縦走中の女性(70 歳代)が、疲労により行動不能となる山岳遭難が 27 日発生し、県警ヘリ及び安曇野警察署山岳遭難救助隊員等が搜索して、28 日、県警ヘリで救助しました。						

7月2日	木曾郡南木曾町読書地籍岩倉川	62	男	滑落	負傷	3人パーティで沢登り中、手を滑らせ滑落、負傷
		62	男	滑落	負傷	上記男性の後方を沢登り中、滑落に巻き込まれ、負傷
<p>2日、3人パーティで木曾郡南木曾町の岩倉川付近を沢登り中、先頭を進んでいた男性(62歳・骨盤骨折等)が手を滑らせ、約5メートル滑落し、後方にいた男性(62歳・脊椎骨折等)と接触して負傷する山岳遭難が発生し、防災ヘリが出動して発見・救助しました。</p>						
7月3日	独鈷山	60	女	滑落	死亡	2人パーティで独鈷山から下山中、同行者とはぐれ、岩場で滑落
<p>3日、上田市前山の独鈷山に2人パーティで入山した女性(60歳)が、登頂後の下山途中で同行者とはぐれ、登山口に戻らず行方不明になる山岳遭難が発生し、消防、県警山岳遭難救助隊、上田警察署救助隊が出動し、4日、心肺停止状態の女性を発見・救助しました。</p>						

令和4年(2022年)中の山岳遭難発生状況(令和4年(2022年)1月1日～7月3日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和4年(2022年)	94	16	2	44	44	106	59
内)単独登山	34	6	1	9	18	34	16
内)山菜採り	9	1	1	1	6	9	3
令和3年(2021年)	74	16	0	33	36	85	46
前年同期比	+20	±0	+2	+11	+8	+21	+13
内)単独登山	+4	-2	+1	+2	+3	+4	+1
内)山菜採り	+5	-1	+1	+1	+4	+5	+1

■山域別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～7月3日)

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	3	3.2%	0	0	3	3
	後立山	14	14.9%	4	0	6	17
	その他	11	11.7%	2	1	2	12
	計	28	29.8%	6	1	11	32
中央アルプス	9	9.6%	2	0	3	4	9
南アルプス	1	1.1%	0	0	0	1	1
八ヶ岳連峰	20	21.3%	3	0	15	5	23
その他の山岳	36	38.3%	5	1	15	20	41
計	94		16	2	44	44	106

■態様別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～7月3日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	36	38.3%	10	0	28	0	38
転倒	9	9.6%	0	0	9	0	9
病気	3	3.2%	2	0	0	1	3
道迷い	23	24.5%	0	0	0	30	30
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	4	4.3%	2	0	2	0	4
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	5	5.3%	1	0	0	6	7
不明・他	14	14.9%	1	2	5	7	15
計	94		16	2	44	44	106

■男女別・年齢別比率(令和4年(2022年)1月1日～7月3日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	2	0	2	17 23.6%	0	0	0	0	0	8 23.5%	2	25 23.6%
20代	1	0	1	7	9		0	0	1	3	4		13	
30代	0	0	1	5	6		1	0	2	1	4		10	
40代	1	0	7	6	14	27 37.5%	0	0	4	0	4	15 44.1%	18	42 39.6%
50代	2	0	6	5	13		2	0	5	4	11		24	
60代	3	0	8	7	18	28 38.9%	1	0	3	0	4	11 32.4%	22	39 36.8%
70以上	3	1	2	4	10		2	1	2	2	7		17	
計	10	1	27	34	72		6	1	17	10	34		106	
比率	67.9%						32.1%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。